

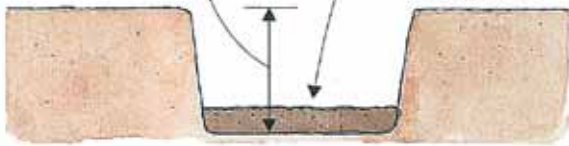
ポット苗の植えつけ方

1

根鉢より一回り大きな植え穴を用意する。

深さは、根鉢を据えたとき、表面が地表と同じ高さになる程度とする。

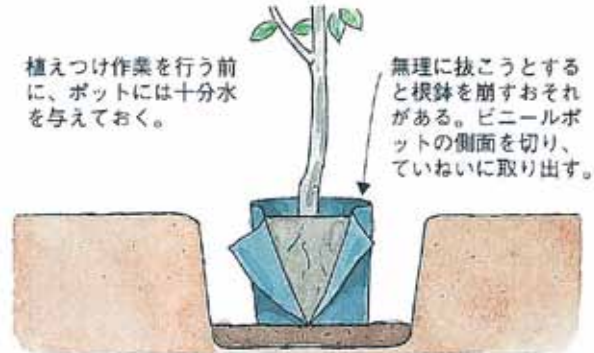
植え穴の底には、培養土や堆肥を加えた植え土を10cm厚ほどに敷いておく。



2

植えつけ作業を行う前に、ポットには十分水を与えておく。

無理に抜こうとすると根鉢を崩すおそれがある。ビニールポットの側面を切り、ていねいに取り出す。



3

固まっている表面の土は、周囲の縁の部分の土を軽くそぎあげるようにして崩しておくといよい。

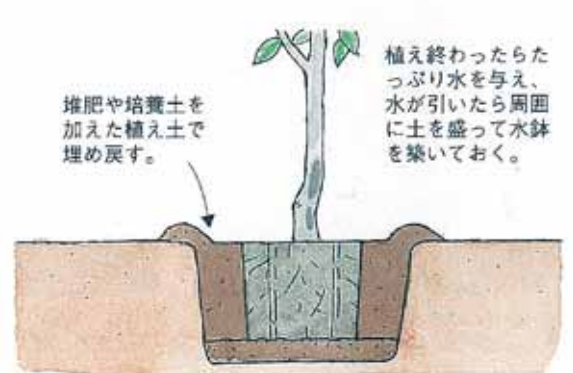
根鉢の側面には根が回っているので、ノコギリで何か所も切れ目を入れ、新しい根が伸び出しやすいようにする。



4

堆肥や培養土を加えた植え土で埋め戻す。

植え終わったらたっぷり水を与え、水が引いたら周囲に土を盛って水鉢を築いておく。



裸苗（根巻き苗）の植えつけ方

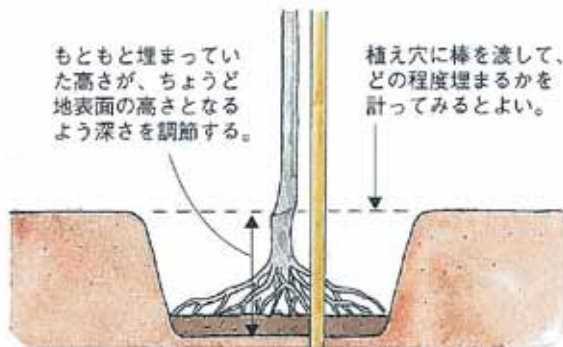
ポイント

- ・接ぎ木テープを外す
- ・接ぎ木部が地表面より上になるように深さを調節する
- ・接いだところから40～60cmで切る

1

もともと埋まっていた高さが、ちょうど地表面の高さとなるよう深さを調節する。

植え穴に棒を渡して、どの程度埋まるかを計ってみるとよい。



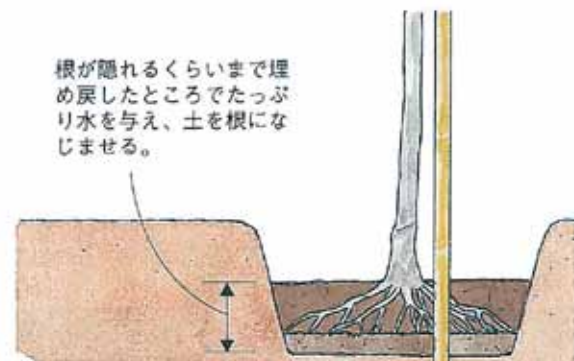
2

広げた根の間に用土を入れる。このとき、軽く苗を揺すってもよい。



3

根が隠れるくらいまで埋め戻したところでたっぷり水を与え、土を根になじませる。



4

水が引いたら、さらに植え穴がいっぱいになるまで土を埋め戻し、軽く押さえつけておく。

埋め戻しが終わったら、周囲に土を盛って水鉢を築いておく。

